

(2) コミュニケーション・アンケートの実施

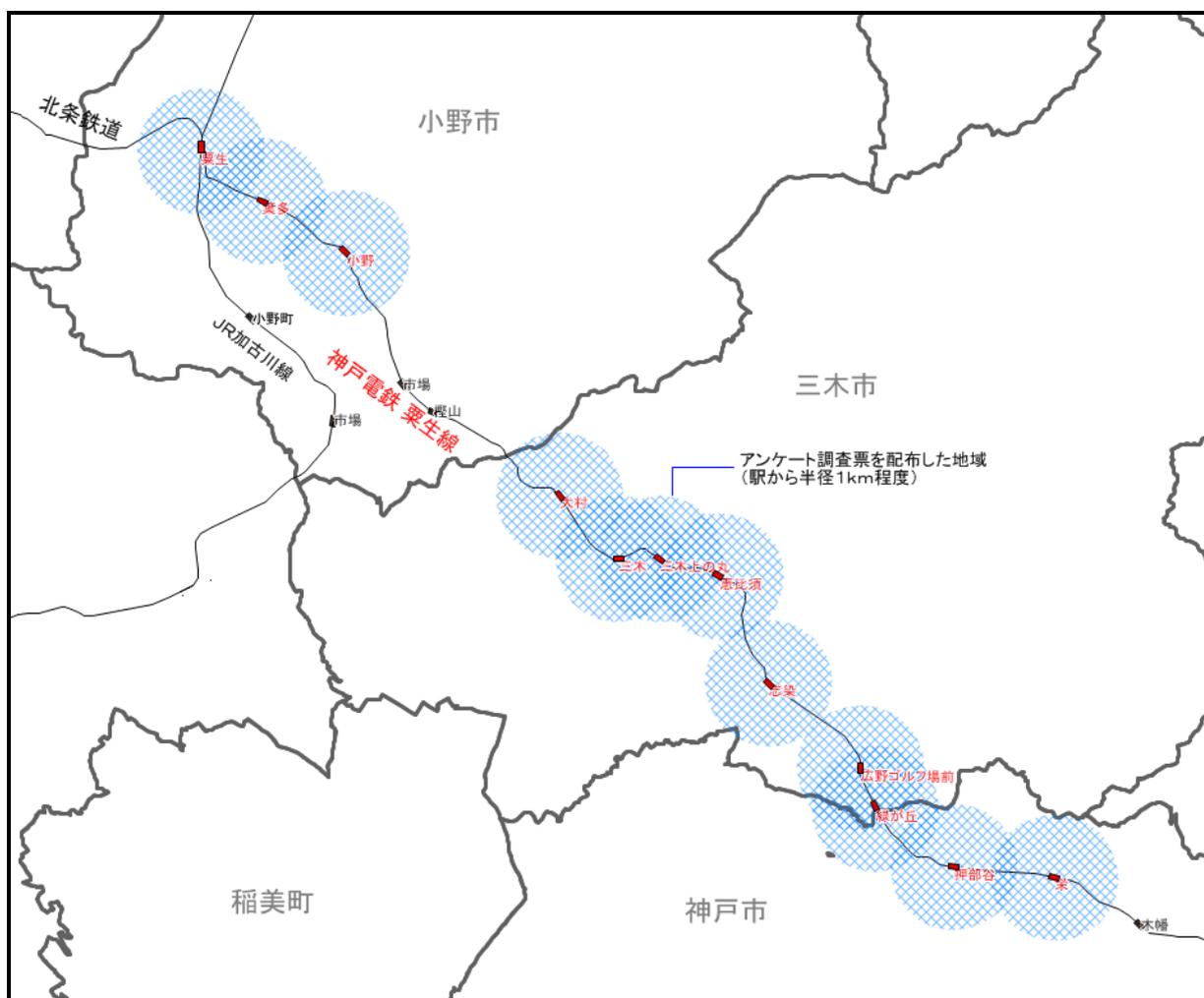
ア 調査対象地域及び調査方法

以下に示す地域の方を対象に、アンケート調査票の配布を行った。

- ① 粟生線沿線（神戸市・三木市・小野市）の住民を対象。
- ② 粟生線利用が見込まれる駅勢圏半径 1km から世帯を抽出。
- ③ 沿線 10,000 世帯に各調査票を 2 枚同封し郵送配布・回収。

アンケート調査票の配布及び回収は、以下の日程で行った。

- ・アンケート発送日：平成 23 年 9 月 9 日（金）
- ・アンケート締切日：平成 23 年 9 月 30 日（金）



▲ 調査対象地域

イ 配布枚数及び回収枚数

三木市・小野市・神戸市の 10,000 世帯に発送した調査票のうち、2,878 世帯から回答を頂いた。

なお、発送時には1世帯につき2枚の調査票を送付した。世帯によって複数の回答があったため、調査票の回収枚数は3,934枚となった。

▼ 調査票の回収状況

地域	①発送数	②封筒回収数	③回収率 (=②÷①)	④調査票枚数
三木市	4,552 世帯	1,408 世帯	30.9%	1,942 枚
小野市	2,073 世帯	549 世帯	26.5%	718 枚
神戸市	3,375 世帯	900 世帯	26.7%	1,245 枚
不明	—	21 世帯	—	29 枚
合計	10,000 世帯	2,878 世帯	28.8%	3,934 枚

ウ 調査票

①表

問5 「粟生線」を利用しやすくするためには、どのような取組が必要だと思いますか？
また、現状で「粟生線」を利用しにくい理由があれば、ご自由にお書きください。

問6 あなたご自身のことについてお聞きます。

性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
年齢	<input type="checkbox"/> 10歳代 <input type="checkbox"/> 20歳代 <input type="checkbox"/> 30歳代 <input type="checkbox"/> 40歳代 <input type="checkbox"/> 50歳代 <input type="checkbox"/> 60歳代 <input type="checkbox"/> 70歳以上
職業	<input type="checkbox"/> 会社員など(自宅以外で就労している) } ※勤務地または通学先の町名をご記入ください。 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 自営業など(自宅で就労している) <input type="checkbox"/> 主婦・主夫 <input type="checkbox"/> その他

後日もう一度簡単な(今回の半分程度です)アンケート調査を企画しています。
是非、次回のアンケート調査にもご協力ください。

● 送付先のお名前、ご住所をご記入ください。

お名前	
ご住所	※ 宛先にお届けするために番地名、アパート・マンション(建物名)まで正確にご記入ください。 〒□□□□-□□□□

ご協力ありがとうございました。封筒に入れてご返送ください。

神戸電鉄粟生線と私たちの日常生活を考えるアンケート調査

今、神戸電鉄粟生線の存続が危ぶまれています。

平成21年11月に、神戸市、三木市、小野市、神戸電鉄、兵庫県等が「神戸電鉄粟生線活性化協議会」を立ち上げ、利用者の増加を目指して沿線のイベントとも連携しながら様々な取り組みを実施してきましたが、依然として利用者の減少が続いています。

このままでは「粟生線」がなくなる日も現実のものとなるかもしれません。そうなれば、クルマを運転できないお年寄りや学生の「交通手段」が失われるだけでなく、渋滞の悪化や地価の低下など、あなたの生活にも影響がでています。

しかしながら、利用者が少ない鉄道を残すために、鉄道事業者・行政の努力だけでは限界があります。ですから、「粟生線」を残すためには、沿線にお住まいの一人おひとりに、少しずつ継続的に「粟生線」に乗っていただくことが必要なのです。

このアンケートは、もはや地域の皆様にとって身近な存在ではなくなってしまったかも知れない「粟生線」について、もう一度、私たちと一緒に考えていただくために企画したものです。

ぜひとも、ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成23年9月

神戸電鉄粟生線活性化協議会
会長 三木市理事 北井信一郎

ご回答にあたってのお願い

- アンケートは2部同封しています。
- **地域を良くしたい**とお考えの旨様は見非ご回答ください。
- **5分程度**で回答可能です。
- ご回答後は同封の返信用封筒に入れて **9月30日(金)まで**にご返送ください。
- 公表にあたっては、すべて統計的に処理しますので、個人の情報は一切公表いたしません。

■ ご質問等は、下記までお問い合わせください。
 神戸市 企画調整局企画調整部調整課 (担当: 福田、古川) TEL. 078-322-5039
 三木市 まちづくり部美しいまちづくり課 (担当: 中西、木島) TEL. 0794-82-2000
 小野市 総合政策部交通政策グループ (担当: 上田) TEL. 0794-63-1000
 神戸電鉄株式会社 鉄道事業本部企画部 (担当: 前田) TEL. 078-592-2221
 兵庫県 県土整備部県土企画局交通政策課 (担当: 木下) TEL. 078-341-7711

■ 神戸電鉄粟生線活性化協議会は、神戸市、三木市、小野市、神戸電鉄、兵庫県、国、沿線住民代表、学識経験者で構成されています。

詳しくは…

神戸電鉄粟生線活性化協議会 検索

エ 集計結果

第1回アンケート調査の各設問とその調査結果は以下の通りである。

(1) 日頃の移動の特徴

① 交通手段

〔設問〕

問1 あなたご自身の日頃の移動についてお聞きします。

● 下記①～⑤それぞれの交通手段をどのくらい使っていますか?

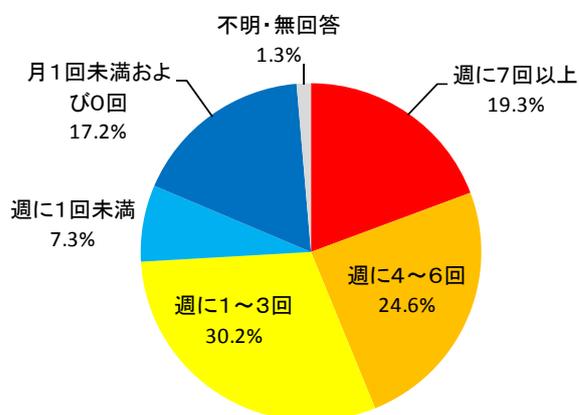
※ “0回”の手段については、空欄で結構です。 (記入例) 週に 月に 3 回程度

① 「クルマ」を使った外出が	<input type="checkbox"/> 週に <input type="checkbox"/> 月に _____ 回程度
② 「バス」を使った外出が	<input type="checkbox"/> 週に <input type="checkbox"/> 月に _____ 回程度
③ 「神鉄」を使った外出が	<input type="checkbox"/> 週に <input type="checkbox"/> 月に _____ 回程度
④ 「地下鉄」を使った外出が	<input type="checkbox"/> 週に <input type="checkbox"/> 月に _____ 回程度
⑤ 「その他の鉄道」を使った外出が	<input type="checkbox"/> 週に <input type="checkbox"/> 月に _____ 回程度

〔結果：クルマでの外出回数（回答数＝3,934件）〕

- 「週に1～3回」が1189件で30.2%と最も多く、次いで「週に4～6回」が966件で24.6%、さらに「週に7回以上」が759件で19.3%と続いています。

「クルマ」を使った外出の回数

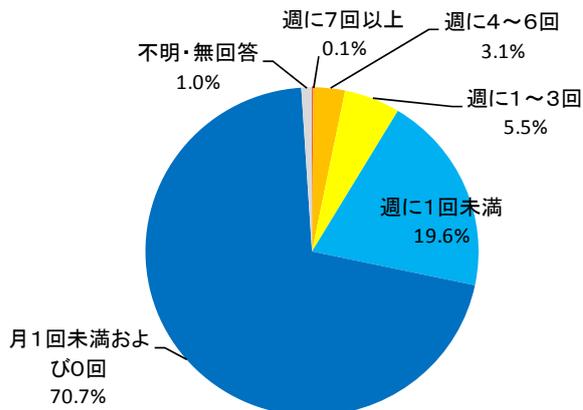


週に7回以上	759件	19.3%
週に4～6回	966件	24.6%
週に1～3回	1189件	30.2%
週に1回未満	289件	7.3%
月1回未満および0回	678件	17.2%
不明・無回答	53件	1.3%
合計	3934件	100.0%

〔結果：バスでの外出回数（回答数=3,934件）〕

- 「月1回未満および0回」が2780件で70.7%と最も多く、次いで「週に1回未満」が772件で19.6%、さらに「週に1～3回」が215件で5.5%と続いています。

「バス」を使った外出の回数

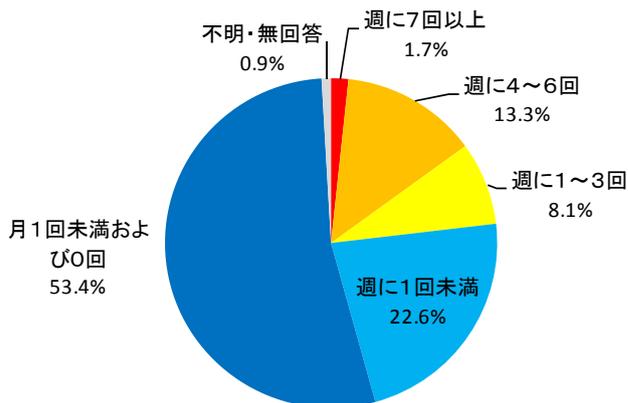


週に7回以上	5件	0.1%
週に4～6回	121件	3.1%
週に1～3回	215件	5.5%
週に1回未満	772件	19.6%
月1回未満および0回	2780件	70.7%
不明・無回答	41件	1.0%
合計	3934件	100.0%

〔結果：神鉄での外出回数（回答数=3,934件）〕

- 「月1回未満および0回」が2100件で53.4%と最も多く、次いで「週に1回未満」が888件で22.6%、さらに「週に4～6回」が524件で13.3%と続いています。

「神鉄」を使った外出の回数

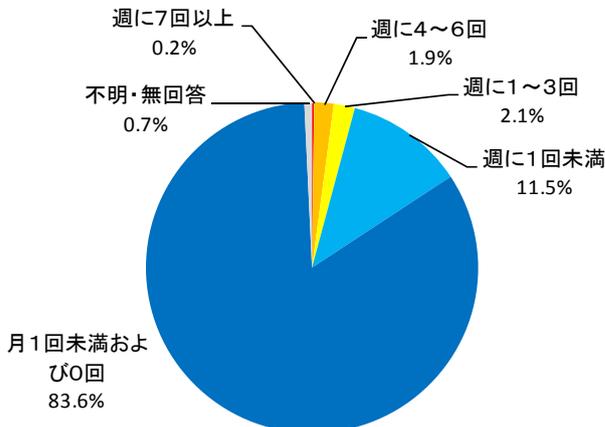


週に7回以上	66件	1.7%
週に4～6回	524件	13.3%
週に1～3回	320件	8.1%
週に1回未満	888件	22.6%
月1回未満および0回	2100件	53.4%
不明・無回答	36件	0.9%
合計	3934件	100.0%

〔結果：地下鉄での外出回数（回答数=3,934件）〕

- 「月1回未満および0回」が3288件で83.6%と最も多く、次いで「週に1回未満」が454件で11.5%、さらに「週に1～3回」が81件で2.1%と続いています。

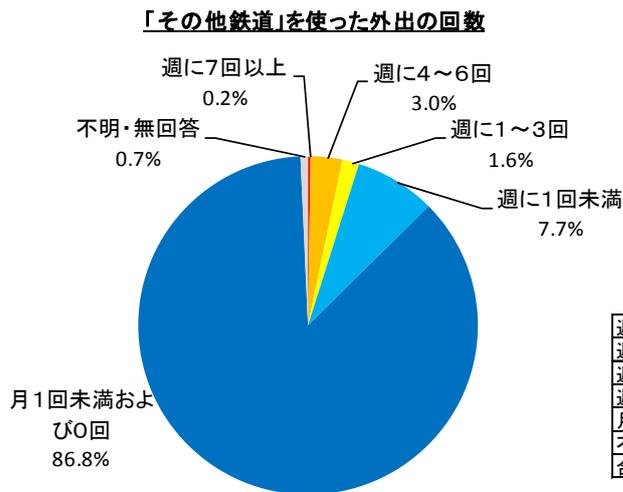
「地下鉄」を使った外出の回数



週に7回以上	8件	0.2%
週に4～6回	74件	1.9%
週に1～3回	81件	2.1%
週に1回未満	454件	11.5%
月1回未満および0回	3288件	83.6%
不明・無回答	29件	0.7%
合計	3934件	100.0%

〔結果：その他の鉄道での外出回数（回答数＝3,934件）〕

- 「月1回未満および0回」が3413件で86.8%と最も多く、次いで「週に1回未満」が303件で7.7%、さらに「週に4～6回」が118件で3.0%と続いています。



週に7回以上	9件	0.2%
週に4～6回	118件	3.0%
週に1～3回	63件	1.6%
週に1回未満	303件	7.7%
月1回未満および0回	3413件	86.8%
不明・無回答	28件	0.7%
合計	3934件	100.0%

②最寄り駅名

〔設問〕

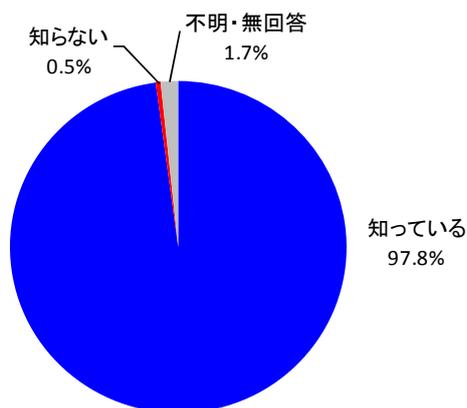
● **ご自宅の最寄りの神戸電鉄粟生線の駅名をご存じですか？**

- 知っている（駅名 _____）駅
- 知らない

〔結果（回答数＝3,934件）〕

- 最寄り駅名は、「知っている」が3849件で97.8%、「知らない」が19件で0.5%となっています。

自宅最寄りの粟生線の駅名の周知度

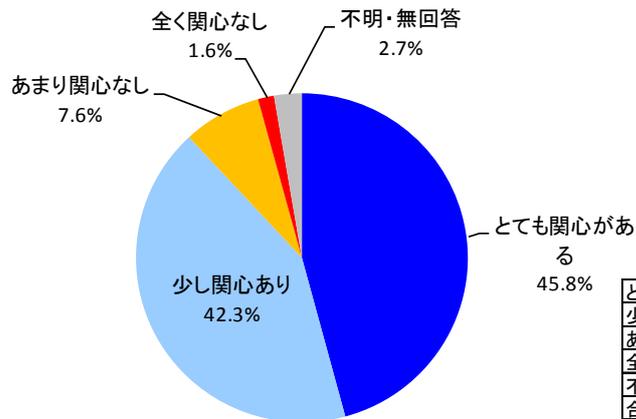


知っている	3849件	97.8%
知らない	19件	0.5%
不明・無回答	66件	1.7%
合計	3934件	100.0%

〔結果：小冊子の内容への関心（回答数=3,934件）〕

- 「とても関心がある」が1801件で45.8%と最も多く、次いで「少し関心あり」が1665件で42.3%、さらに「あまり関心なし」が300件で7.6%と続いています。

小冊子の内容への関心度

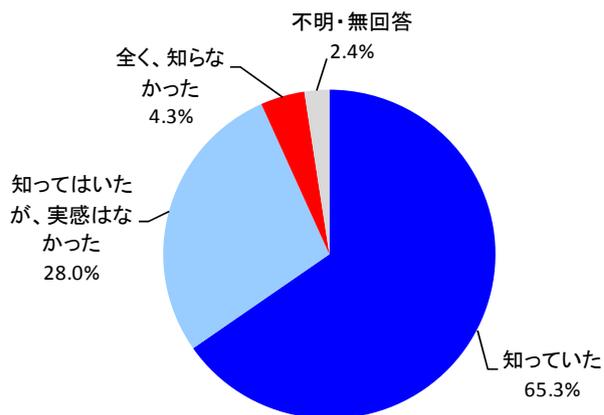


とても関心がある	1801件	45.8%
少し関心あり	1665件	42.3%
あまり関心なし	300件	7.6%
全く関心なし	62件	1.6%
不明・無回答	106件	2.7%
合計	3934件	100.0%

〔結果：「粟生線がなくなる日」の認知度（回答数=3,934件）〕

- 「知っていた」が2569件で65.3%と最も多く、次いで「知ってはいたが、実感はなかった」が1101件で28.0%、「全く、知らなかった」が169件で4.3%と続いています。

「粟生線がなくなる日」が来るかもしれないことの認知度

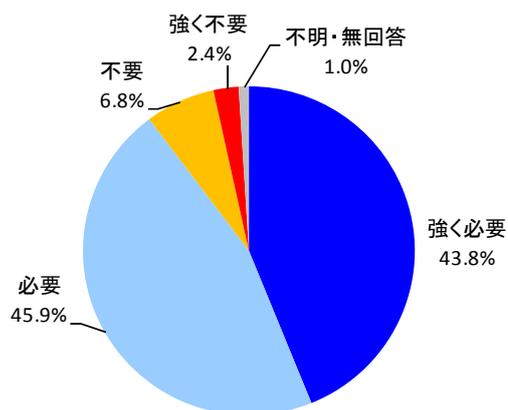


知っていた	2569件	65.3%
知ってはいたが、実感はなかった	1101件	28.0%
全く、知らなかった	169件	4.3%
不明・無回答	95件	2.4%
合計	3934件	100.0%

〔結果：回答者自身にとっての粟生線の必要性（回答数=3,934件）〕

- 「必要」が1806件で45.9%と最も多く、次いで「強く必要」が1725件で43.8%、さらに「不要」が268件で6.8%と続いています。

回答者自身の粟生線の必要性

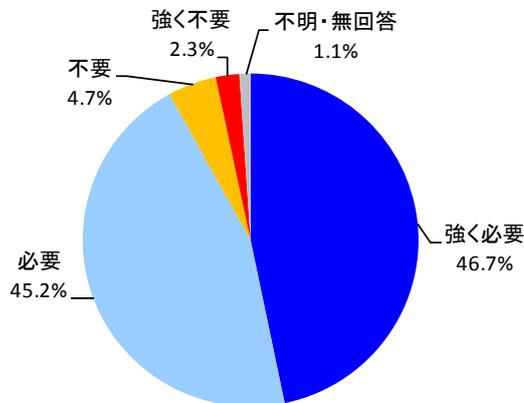


強く必要	1725件	43.8%
必要	1806件	45.9%
不要	268件	6.8%
強く不要	96件	2.4%
不明・無回答	39件	1.0%
合計	3934件	100.0%

〔結果：家族や地域にとっての粟生線の必要性（回答数=3,934件）〕

- 「強く必要」が1839件で46.7%と最も多く、次いで「必要」が1779件で45.2%、さらに「不要」が185件で4.7%と続いています。

家族や地域にとっての粟生線の必要性



強く必要	1839件	46.7%
必要	1779件	45.2%
不要	185件	4.7%
強く不要	89件	2.3%
不明・無回答	42件	1.1%
合計	3934件	100.0%

②粟生線を利用することについての思い

〔設問〕

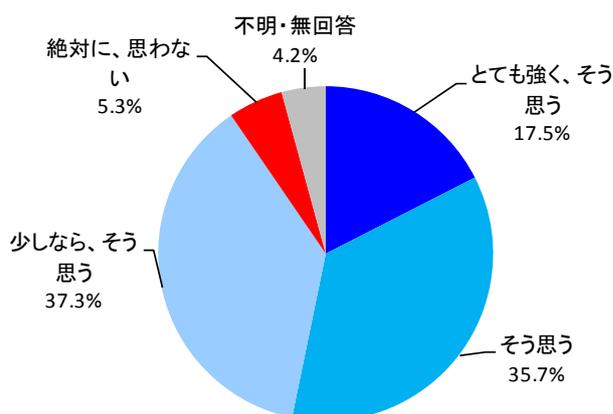
● 少し無理をしても、「粟生線」を今よりも利用してみるのもいいかと思いますが?

- 絶対に、思わない
- 少しなら、そう思う
- そう思う
- とても強く、そう思う

〔結果（回答数=3,934件）〕

- 「少しなら、そう思う」が1467件で37.3%と最も多く、次いで「そう思う」が1406件で35.7%、さらに「とても強く、そう思う」が687件で17.5%と続いています。

少し無理をしても、粟生線を利用することについて



とても強く、そう思う	687件	17.5%
そう思う	1406件	35.7%
少しなら、そう思う	1467件	37.3%
絶対に、思わない	208件	5.3%
不明・無回答	166件	4.2%
合計	3934件	100.0%

(3) 今後の粟生線の利用意向

① 平日の通勤・通学時の利用意向

〔設問〕

問3 「粟生線」を利用する方法には、いろいろなものが考えられます。
以下のそれぞれについて、考えてみてください

● 平日の通勤・通学で「粟生線」を利用することは可能ですか？

既に利用している →もっと利用できそうですか？ 週に 月に _____ 回程度なら可能

利用できる →どの程度利用できそうですか？ 週に 月に _____ 回程度なら可能

利用することはできない

通勤(登校)していない

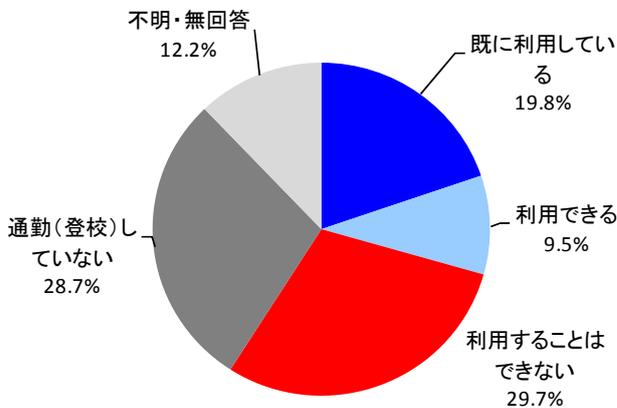


クルマよりも時間がかかる場合もあるかもしれませんが、粟生線に乗って読書をしたり、電車での移動を楽しんでみませんか？

〔結果：利用の可能性（回答数=3,934件）〕

- 「利用することはできない」が1170件で29.7%と最も多く、次いで「通勤(登校)していない」が1129件で28.7%、さらに「既に利用している」が780件で19.8%と続いています。

平日の通勤・通学時における粟生線利用の可能性

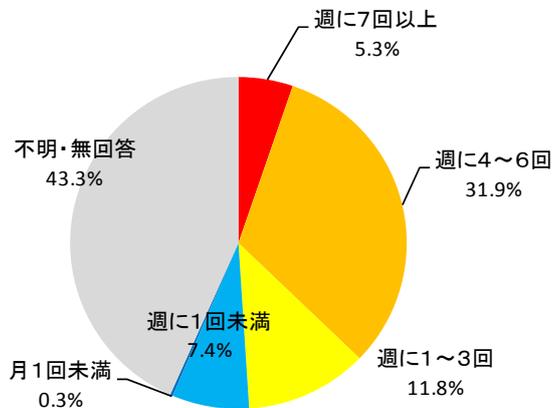


既に利用している	780件	19.8%
利用できる	375件	9.5%
利用することはできない	1170件	29.7%
通勤(登校)していない	1129件	28.7%
不明・無回答	480件	12.2%
合計	3934件	100.0%

〔結果：利用可能な回数（既に利用している方のみ）（回答数=780件）〕

- 「週に4～6回」が249件で31.9%と最も多く、次いで「週に1～3回」が92件で11.8%、さらに「週に1回未満」が58件で7.4%と続いています。

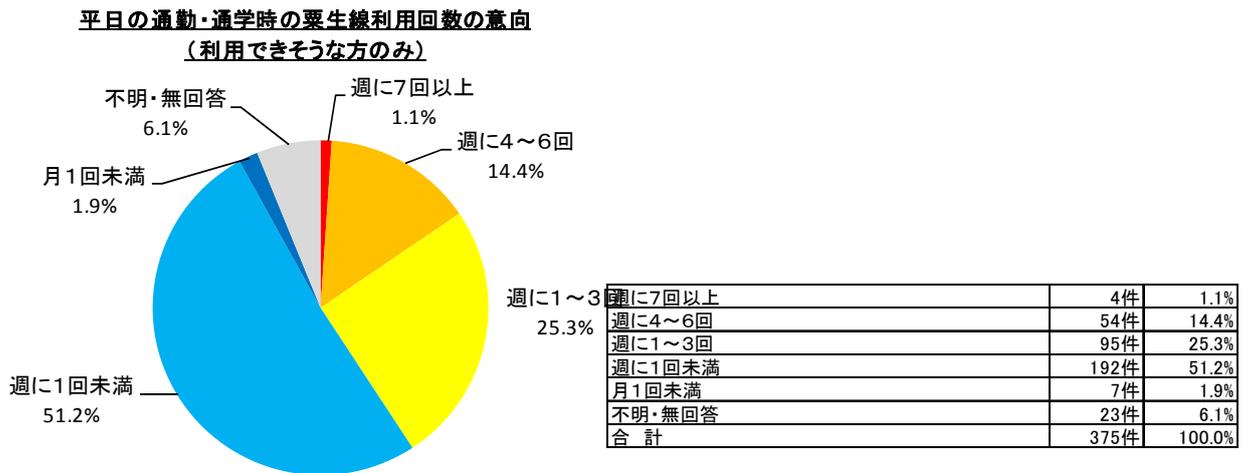
平日の通勤・通学時の粟生線利用回数の意向
(既に利用している方のみ)



週に7回以上	41件	5.3%
週に4～6回	249件	31.9%
週に1～3回	92件	11.8%
週に1回未満	58件	7.4%
月1回未満	2件	0.3%
不明・無回答	338件	43.3%
合計	780件	100.0%

〔結果：利用可能な回数（利用できそうな方のみ）（回答数＝375件）〕

- 「週に1回未満」が192件で51.2%と最も多く、次いで「週に1～3回」が95件で25.3%、さらに週に4～6回」が54件で14.4%と続いています。



②平日の外出（買物・通院など）時の利用意向

〔設問〕

● 平日の外出（買物・通院など）で「粟生線」を利用することは可能ですか？

既に利用している →もっと利用できそうですか？ 週に 月に 回程度なら可能

利用できる →どの程度利用できそうですか？ 週に 月に 回程度なら可能

利用することはできない

平日に外出をしない

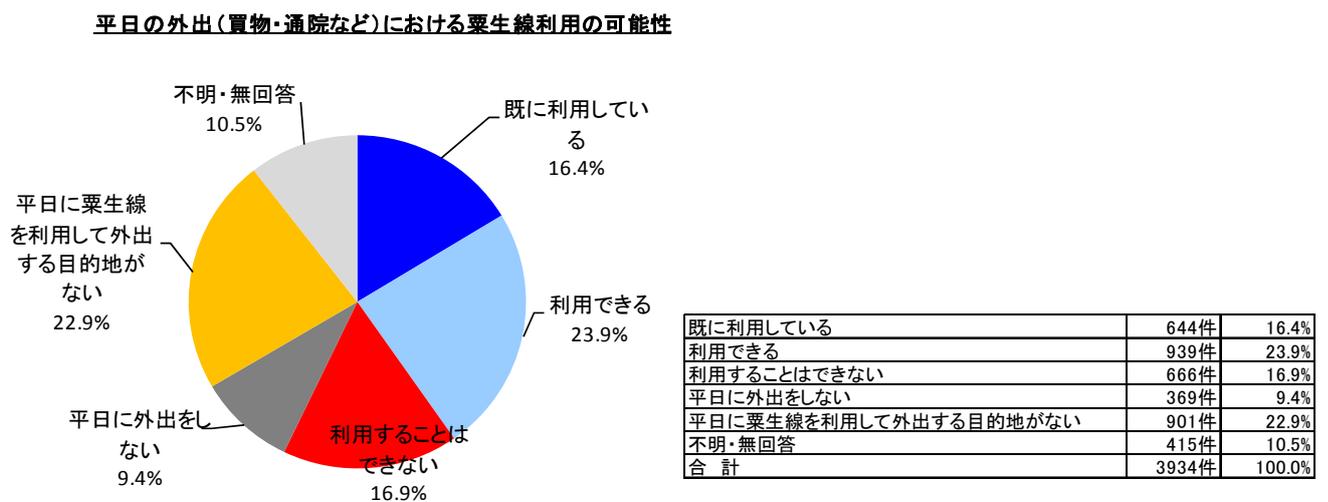
平日に粟生線を利用して外出する目的がない



粟生線に乗って普段行かないお店を見つけてみませんか？

〔結果：利用の可能性（回答数＝3,934件）〕

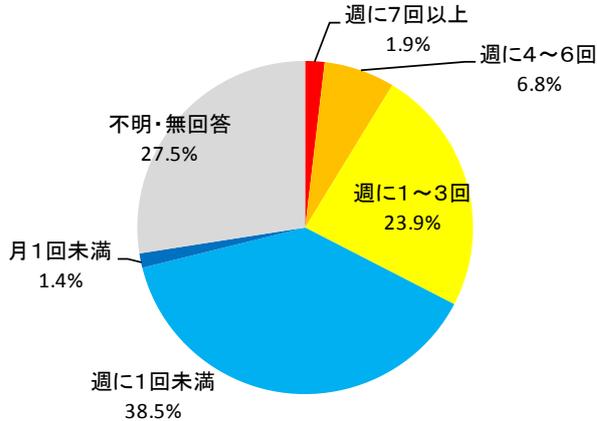
- 「利用できる」が939件で23.9%と最も多く、次いで「平日に粟生線を利用して外出する目的がない」が901件で22.9%、さらに「利用することはできない」が666件で16.9%と続いています。



〔結果：利用可能な回数（既に利用している方のみ）（回答数＝644 件）〕

- 「週に1回未満」が248件で38.5%と最も多く、次いで「週に1～3回」が154件で23.9%、さらに「週に4～6回」が44件で6.8%と続いています。

平日の外出(買物・通院など)の粟生線利用回数の意向
(既に利用している方のみ)

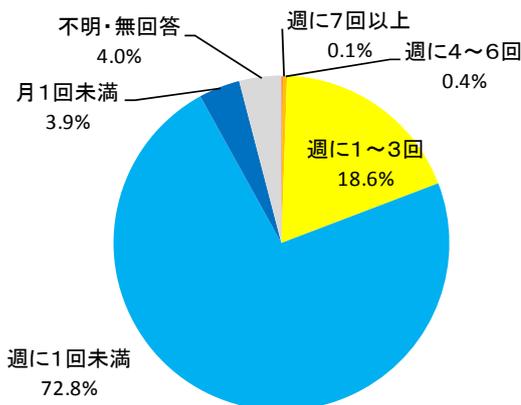


週に7回以上	12件	1.9%
週に4～6回	44件	6.8%
週に1～3回	154件	23.9%
週に1回未満	248件	38.5%
月1回未満	9件	1.4%
不明・無回答	177件	27.5%
合計	644件	100.0%

〔結果：利用可能な回数（利用できそうな方のみ）（回答数＝939 件）〕

- 「週に1回未満」が684件で72.8%と最も多く、次いで「週に1～3回」が175件で18.6%、さらに「月1回未満」が37件で3.9%と続いています。

平日の外出(買物・通院など)の粟生線利用回数の意向
(利用できそうな方のみ)



週に7回以上	1件	0.1%
週に4～6回	4件	0.4%
週に1～3回	175件	18.6%
週に1回未満	684件	72.8%
月1回未満	37件	3.9%
不明・無回答	38件	4.0%
合計	939件	100.0%

③休日の外出(レジャー)時の利用意向

〔設問〕

● 平日の外出(買物・通院など)で「粟生線」を利用することは可能ですか?

既に利用している →もっと利用できそうですか? 週に 月に 回程度なら可能

利用できる →どの程度利用できそうですか? 週に 月に 回程度なら可能

利用することはできない

平日に外出をしない

平日に粟生線を利用して外出する目的がない

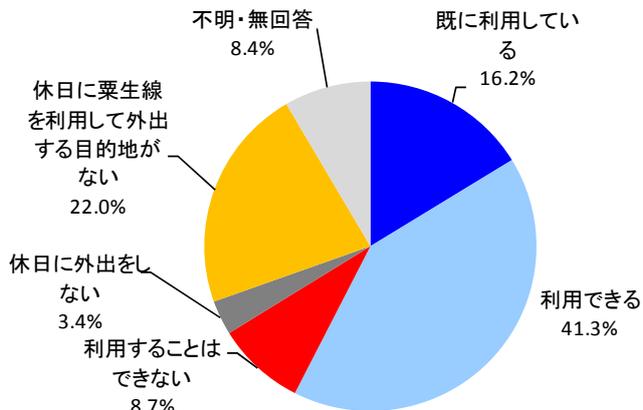


粟生線に乗って普段行かないお店を見つけてみませんか?

〔結果：利用の可能性（回答数=3,934件）〕

- 「利用できる」が1623件で41.3%と最も多く、次いで「休日に粟生線を利用して外出する目的がない」が866件で22.0%、さらに「既に利用している」が639件で16.2%と続いています。

休日の外出(レジャーなど)における粟生線利用の可能性

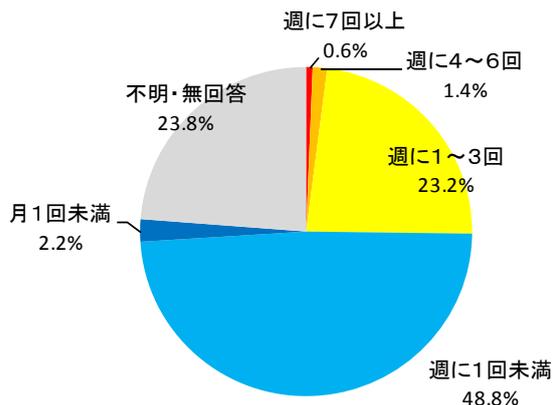


既に利用している	639件	16.2%
利用できる	1623件	41.3%
利用することはできない	341件	8.7%
休日に外出をしない	133件	3.4%
休日に粟生線を利用して外出する目的がない	866件	22.0%
不明・無回答	332件	8.4%
合計	3934件	100.0%

〔結果：利用可能な回数（既に利用している方のみ）（回答数=639件）〕

- 「週に1回未満」が312件で48.8%と最も多く、次いで「週に1～3回」が148件で23.2%、さらに「月1回未満」が14件で2.2%と続いています。

**休日の外出(レジャーなど)の粟生線利用回数の意向
(既に利用している方のみ)**

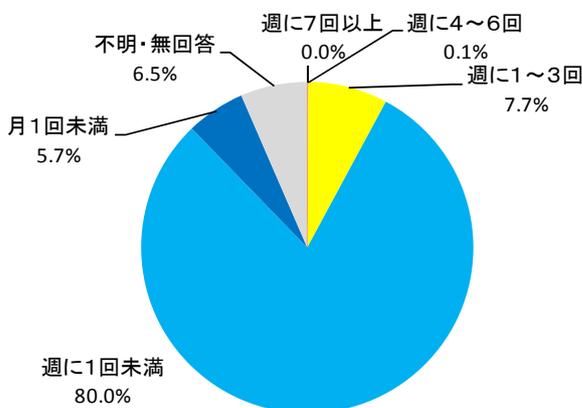


週に7回以上	4件	0.6%
週に4～6回	9件	1.4%
週に1～3回	148件	23.2%
週に1回未満	312件	48.8%
月1回未満	14件	2.2%
不明・無回答	152件	23.8%
合計	639件	100.0%

〔結果：利用可能な回数（利用できそうな方のみ）（回答数=1,623件）〕

- 「週に1回未満」が1298件で80.0%と最も多く、次いで「週に1～3回」が125件で7.7%、さらに「月1回未満」が93件で5.7%と続いています。

**休日の外出(レジャーなど)の粟生線利用回数の意向
(利用できそうな方のみ)**



週に7回以上	0件	0.0%
週に4～6回	2件	0.1%
週に1～3回	125件	7.7%
週に1回未満	1298件	80.0%
月1回未満	93件	5.7%
不明・無回答	105件	6.5%
合計	1623件	100.0%

(4) 粟生線の活性化に向けた取組の内容

〔設問〕

問5 「粟生線」を利用しやすくするためには、どのような取組が必要だと思いますか？
また、現状で「粟生線」を利用しにくい理由があれば、ご自由にお書きください。

〔結果：記述内容の抜粋〕

- 神戸電鉄に対する要望
 - ・ 運賃の低廉化，企画切符の充実
 - ・ 所要時間の短縮
 - ・ 利用者数に応じた運行本数，車両数の設定
 - ・ 競合する路線バスとのサービス水準差の是正
 - ・ 通勤・通学利用者，高齢者のための存続 等
- 今後の活性化策の提案
 - ・ 駅周辺の駐輪場，駐車場整備
 - ・ 最寄り駅周辺のイベント企画と情報提供
 - ・ 各種団体への積極的な利用促進要請
 - ・ 学校・企業の誘致や住宅地開発などによる駅周辺の活性化 等

(5) 回答者の属性

①性別、年齢、職業

[設問]

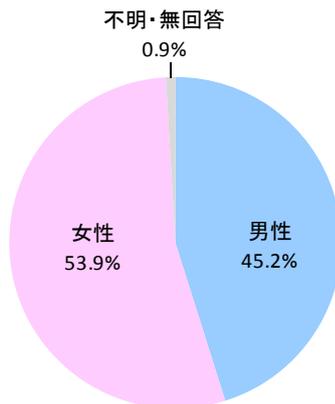
問6 あなたご自身のことについてお聞きます。

性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	
年齢	<input type="checkbox"/> 10歳代 <input type="checkbox"/> 20歳代 <input type="checkbox"/> 30歳代 <input type="checkbox"/> 40歳代 <input type="checkbox"/> 50歳代 <input type="checkbox"/> 60歳代 <input type="checkbox"/> 70歳以上	
職業	<input type="checkbox"/> 会社員など(自宅以外で就労している) <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 自営業など(自宅で就労している) <input type="checkbox"/> 主婦・主夫 <input type="checkbox"/> その他	<div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;"> ※ 勤務地または通学先の町名をご記入ください。 </div>

[結果：性別（回答数=3,934件）]

- 「女性」が2121件で53.9%、「男性」が1777件で45.2%となっています。

性別

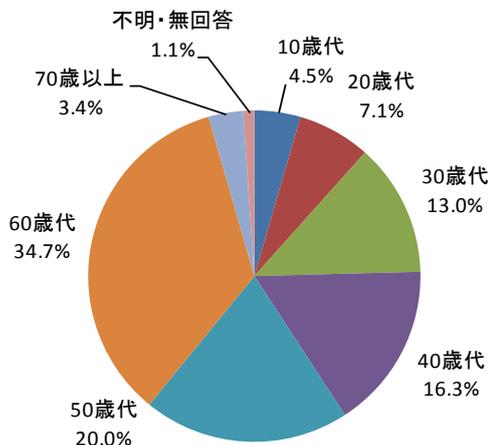


男性	1777件	45.2%
女性	2121件	53.9%
不明・無回答	36件	0.9%
合計	3934件	100.0%

[結果：年齢（回答数=3,934件）]

- 「60歳代」が1366件で34.7%と最も多く、次いで「50歳代」が787件で20.0%、「40歳代」が640件で16.3%と続いています。

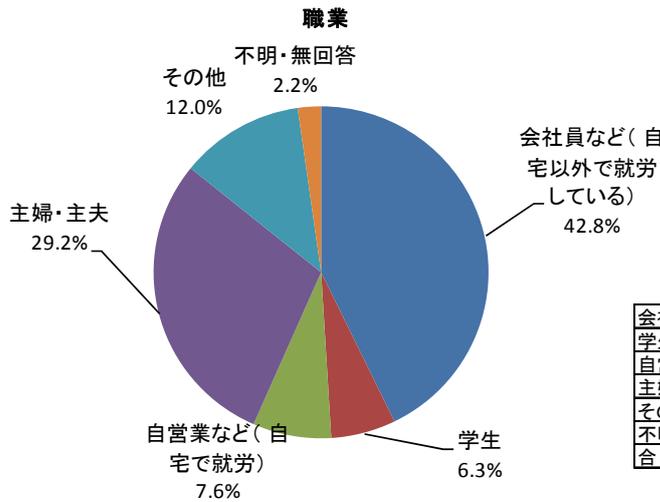
年齢



10歳代	176件	4.5%
20歳代	279件	7.1%
30歳代	512件	13.0%
40歳代	640件	16.3%
50歳代	787件	20.0%
60歳代	1366件	34.7%
70歳以上	132件	3.4%
不明・無回答	42件	1.1%
合計	3934件	100.0%

〔結果：職業（回答数=3,934件）〕

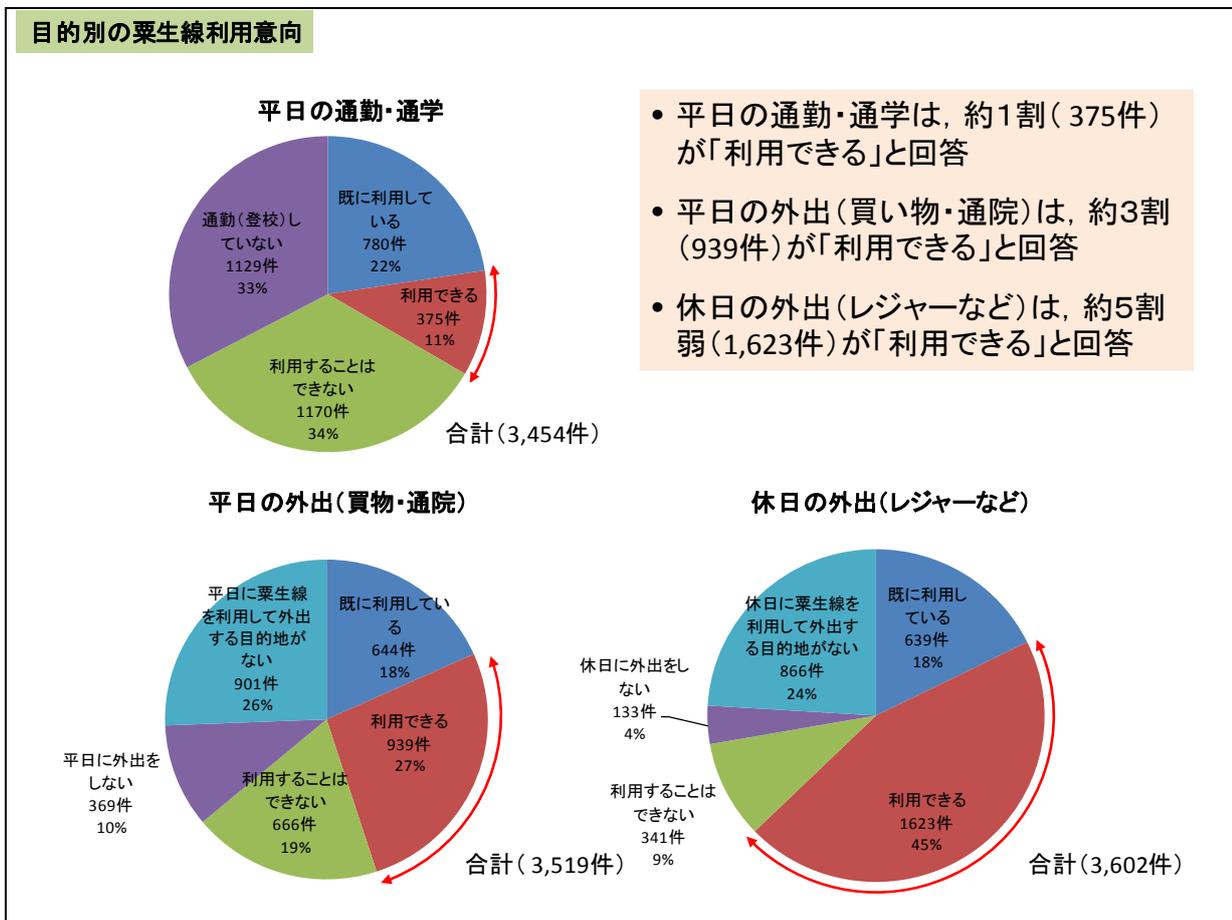
- 「会社員など（自宅以外で就労している）」が1683件で42.8%と最も多く、次いで「主婦・主夫」が1148件で29.2%、さらに「その他」が471件で12.0%と続いています。



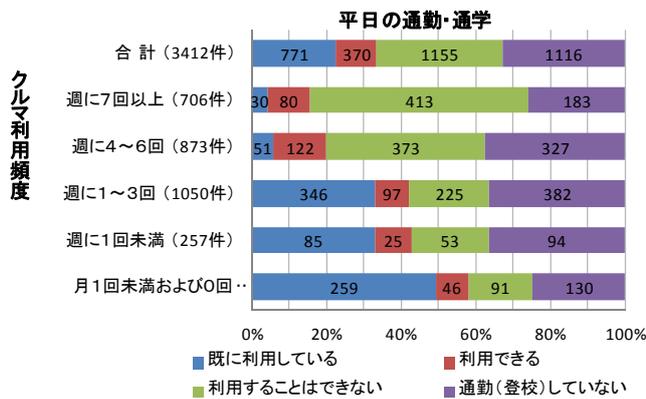
会社員など（自宅以外で就労している）	1683件	42.8%
学生	246件	6.3%
自営業など（自宅で就労している）	298件	7.6%
主婦・主夫	1148件	29.2%
その他	471件	12.0%
不明・無回答	88件	2.2%
合計	3934件	100.0%

オ 目的別の粟生線利用意向

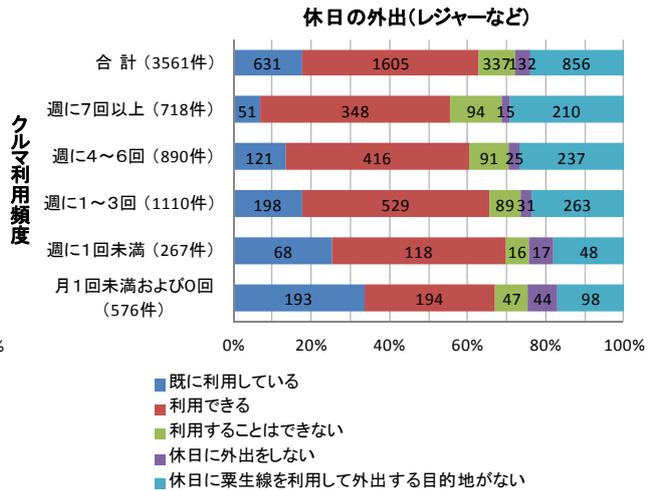
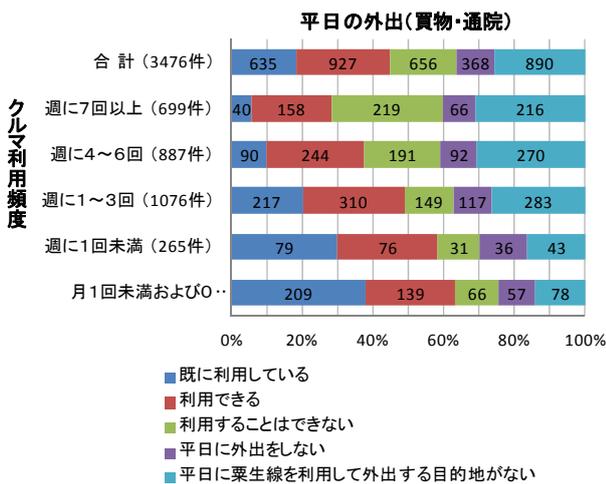
外出目的別（「平日の通勤・通学」／「平日の外出（買物・通院）」／「休日の外出（レジャーなど）」）の粟生線の利用意向と回答者の特性を分析した。



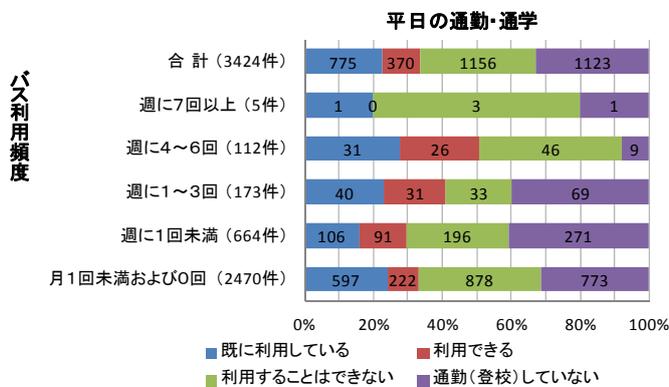
クルマの利用頻度 × 目的別の粟生線利用意向



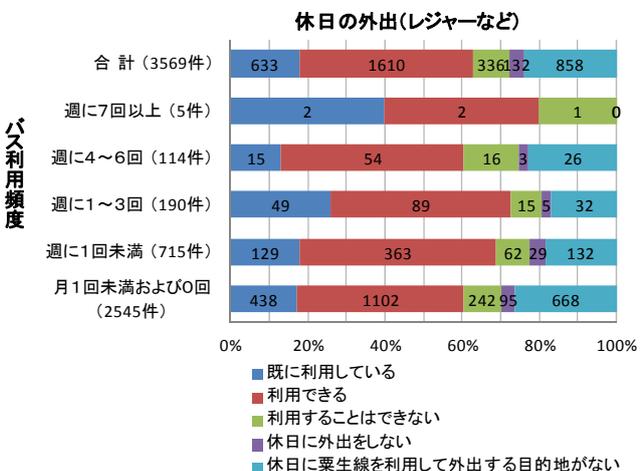
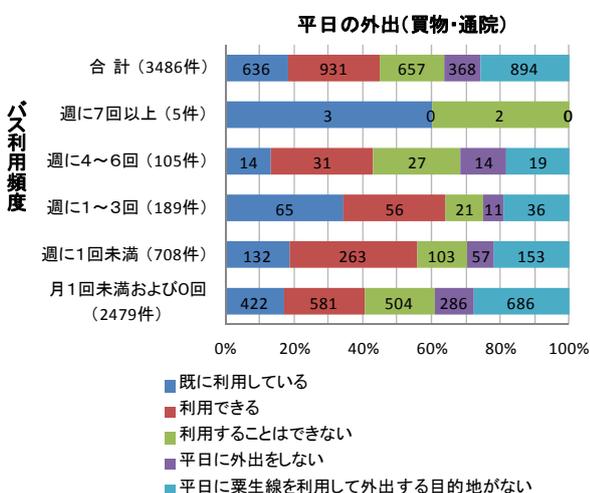
- 普段のクルマの利用頻度に関わらず、一定の利用意向が見られる
- その割合は平日の通勤・通学が約1割、平日の外出が約3割、休日の外出が約5割を占める



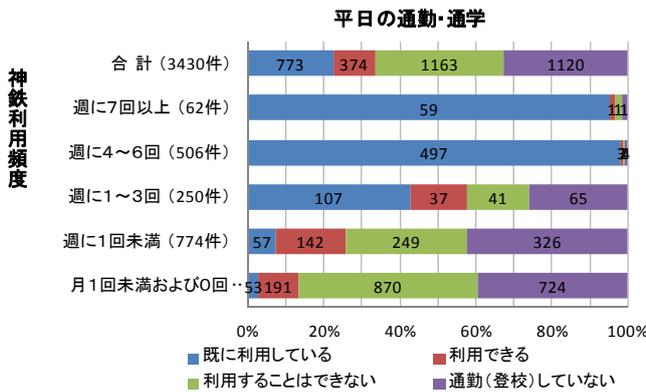
バスの利用頻度 × 目的別の粟生線利用意向



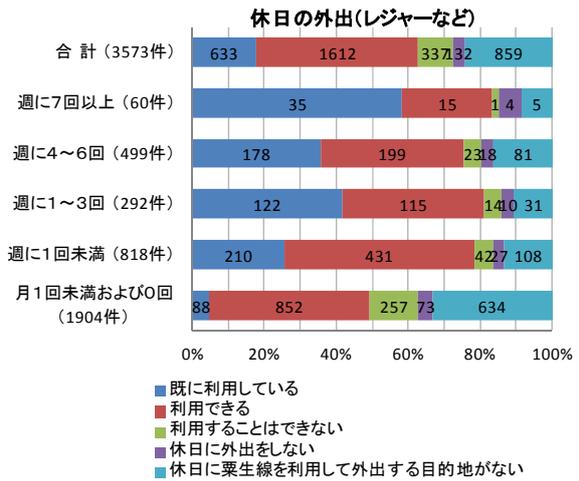
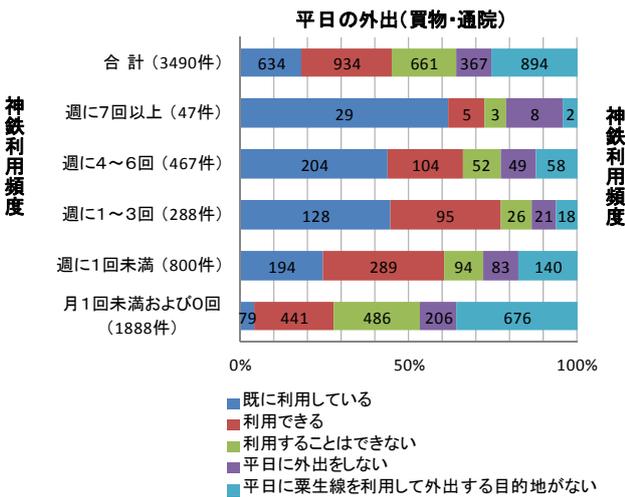
- サンプル数の少ない層を除くと、平日の通勤・通学はバス利用頻度が高いほど利用意向が高い
- その他の目的は、利用頻度によらず、一定の利用意向が見られる



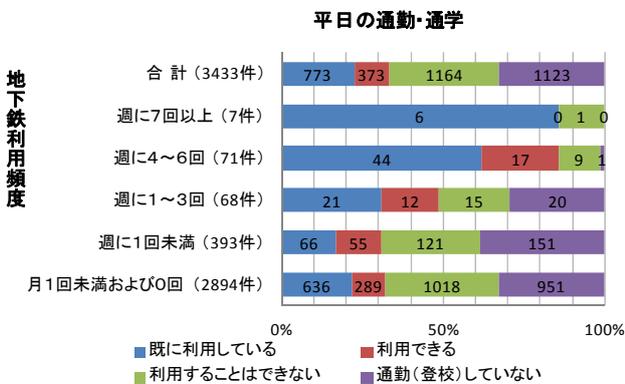
神鉄の利用頻度×目的別の粟生線利用意向



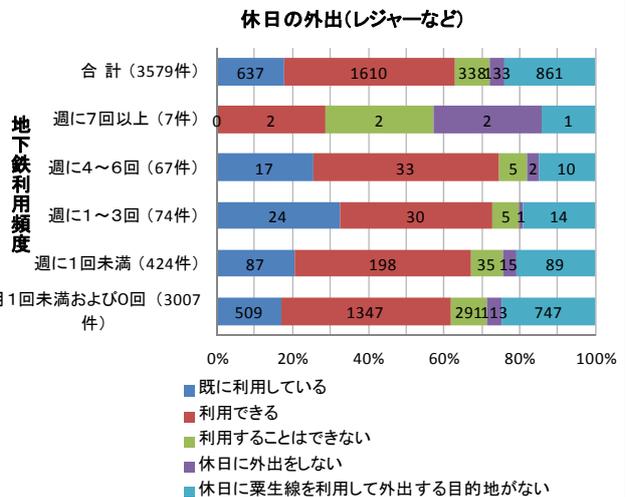
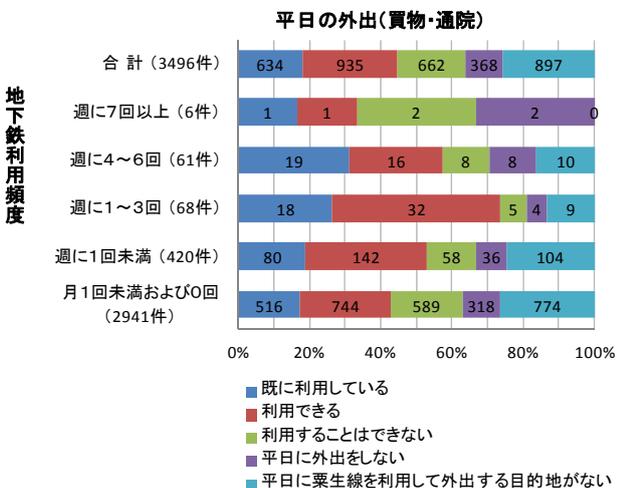
- 既に週に4回以上神鉄を利用している人の利用意向は低い
- 一方で、現在の神鉄の利用頻度が低い層にも一定の利用意向が見られる



地下鉄の利用頻度×目的別の粟生線利用意向



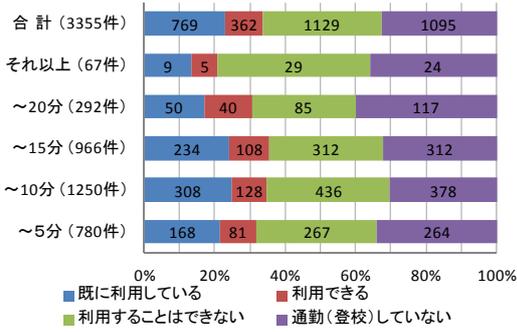
- サンプル数の少ない層を除くと、平日の通勤・通学は、地下鉄の利用頻度が高いほど利用意向が高い
- その他の目的は、利用頻度によらず、一定の利用意向が見られる



最寄り駅までの徒歩時間×目的別の利用意向

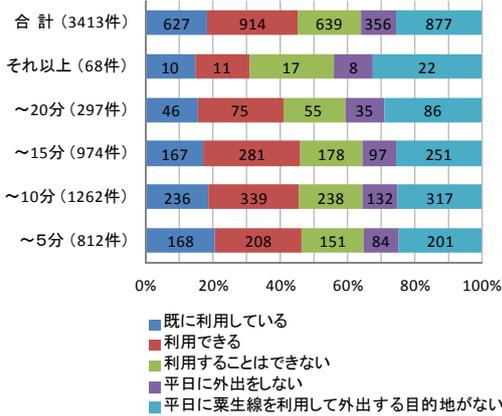
最寄り駅までの徒歩時間

平日の通勤・通学

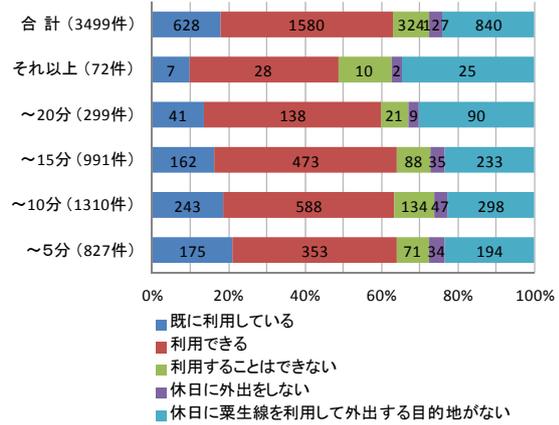


- 徒歩20分以上と比べて20分未満の層は利用意向が高い
- その割合は平日の通勤・通学が約1割, 平日の外出が約2割, 休日の外出が約4割を占める

平日の外出(買物・通院)



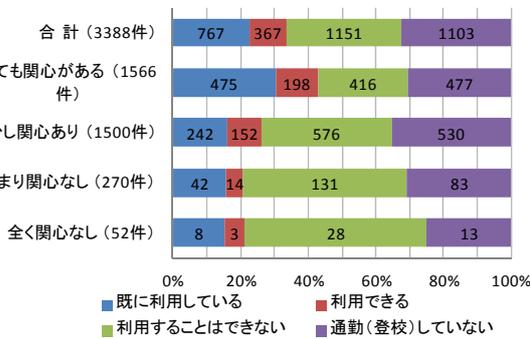
休日の外出(レジャーなど)



小冊子への関心×目的別の利用意向

小冊子への関心

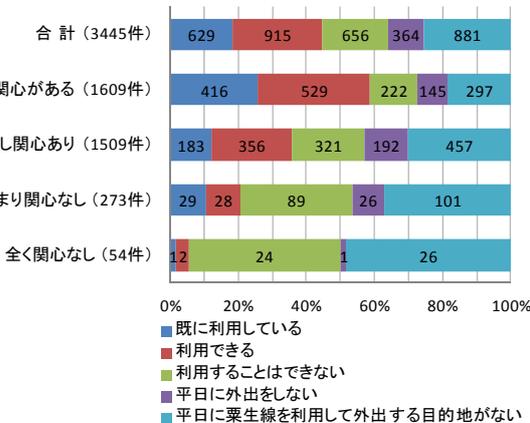
平日の通勤・通学



- 小冊子への関心が高い方ほど利用意向が高い
- 特に休日の外出については「とても関心がある」方の約半数に利用意向が見られる

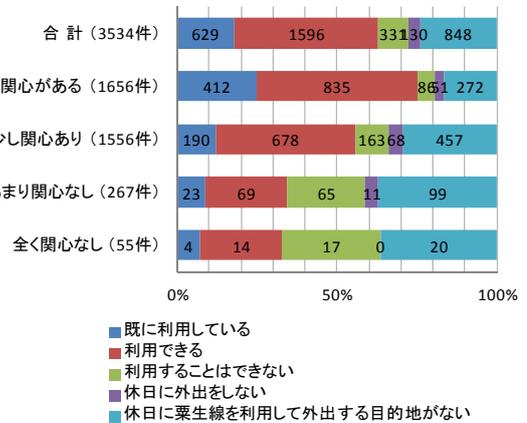
平日の外出(買物・通院)

小冊子への関心



休日の外出(レジャーなど)

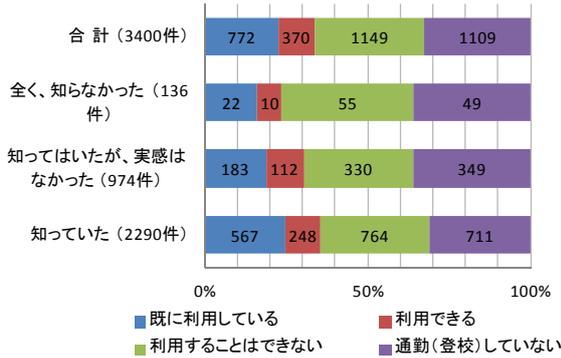
小冊子への関心



栗生線廃止に対する危機感×目的別の利用意向

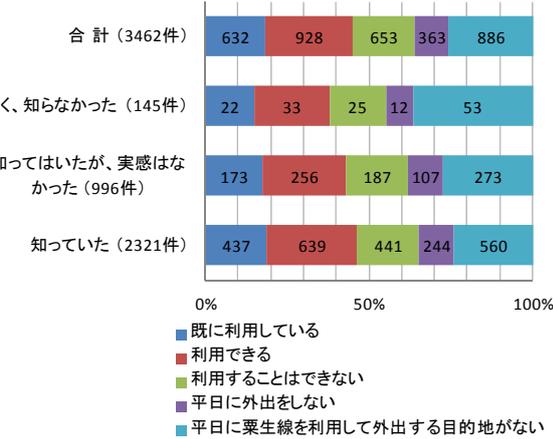
栗生線廃止に対する危機感

平日の通勤・通学



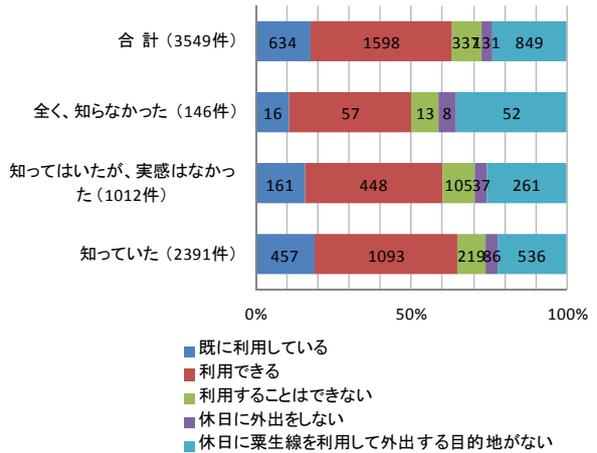
平日の外出(買物・通院)

栗生線廃止に対する危機感



休日の外出(レジャーなど)

栗生線廃止に対する危機感

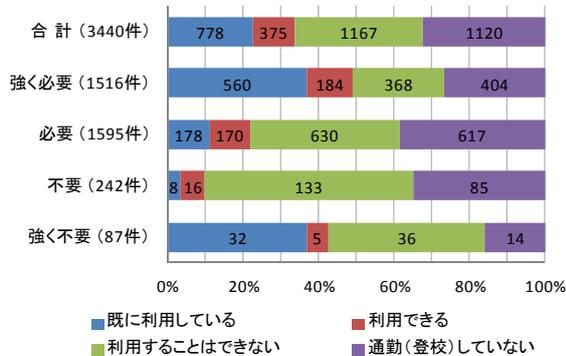


- 「栗生線がなくなる日」が来るかもしれないことに対する意識に関わらず、一定の利用意向が見られる
- その割合は平日の通勤・通学が約1割, 平日の外出が約3割, 休日の外出が約4割を占める

自身の栗生線の必要性×目的別の栗生線利用意向

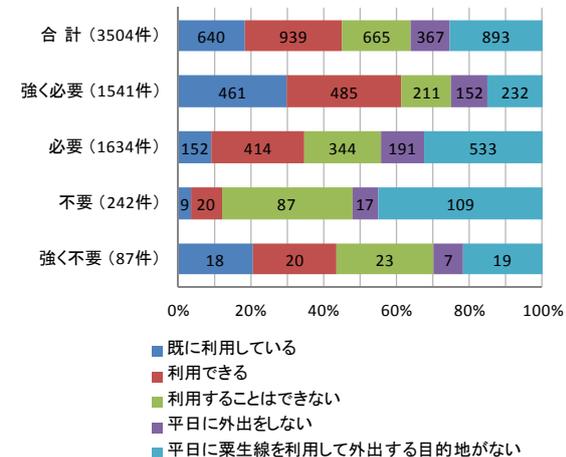
自身の栗生線の必要性

平日の通勤・通学



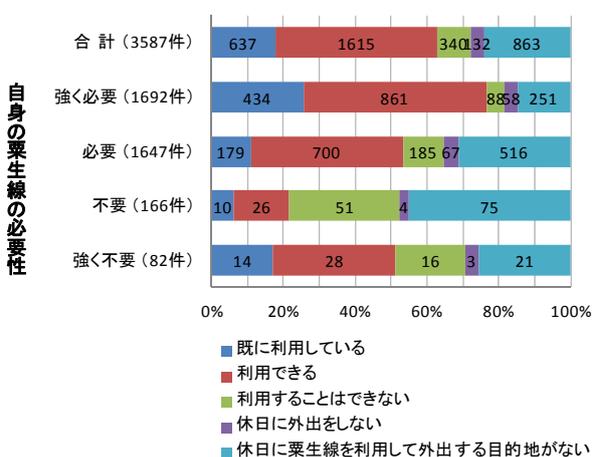
平日の外出(買物・通院)

自身の栗生線の必要性



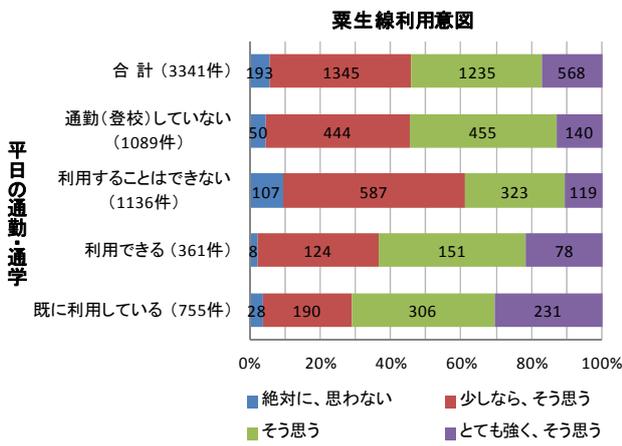
休日の外出(レジャーなど)

自身の栗生線の必要性

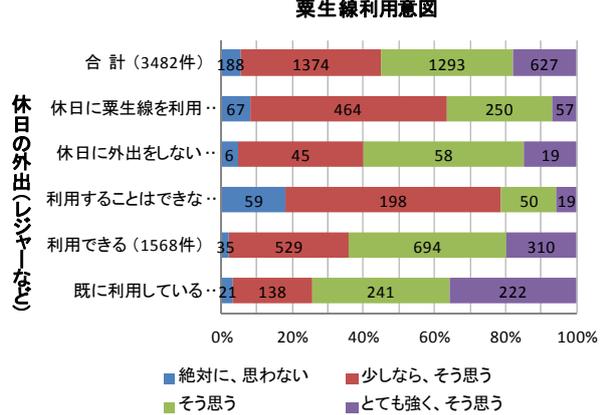
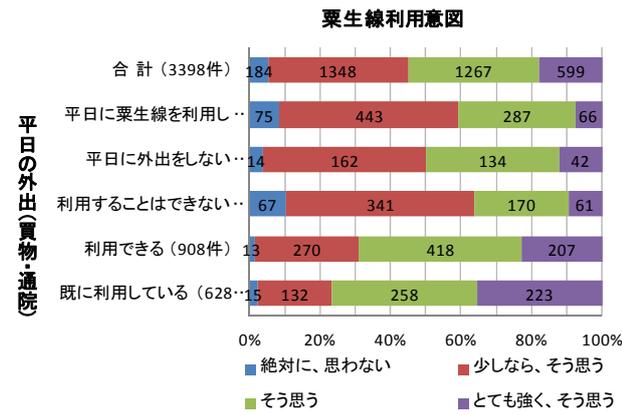


- 栗生線を「必要」または「強く必要」とする人の利用意向が高い
- その割合は平日の通勤・通学が約1割, 平日の外出が約3割, 休日の外出が約4割強を占める

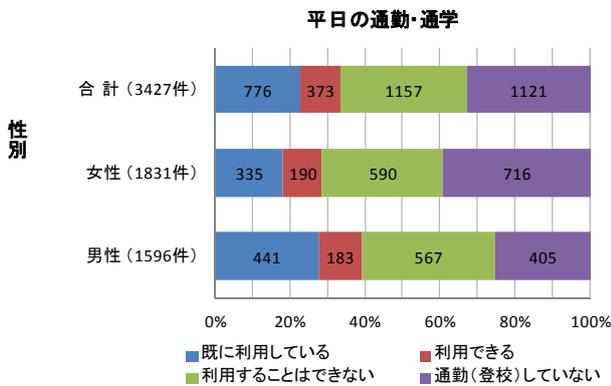
目的別の粟生線利用意向×粟生線利用意図



- 「利用できる」とする層は利用意図が高い
- 一方、「利用することができない」とする層においても、一定の利用意図が見られる



性別×目的別の粟生線利用意向



- 性別に関わらず、一定の利用意向が見られる
- その割合は平日の通勤・通学が約1割、平日の外出が約3割、休日の外出が約5割を占める

